



組合員の購読料は
組合費に含まれます

荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 石上浩一
編集責任者 常盤達雄

No.1703 定価
15円

2008年
10月5日

国労加入を
大胆に訴えよう

組織拡大報告熱く語られる

第59回定期地方大会を開催

第五九回定期大会は、大会開催日前日に中野電車区の主任運転士二名が国労に加入し、この一年間で一名の仲間が国労に加入したことなどもあり、殆どの代議員から組織拡大の取り組みの報告と、この闘いの重要性について熱く語られ、今後一年間、更にまい進しようと思惑統一がされた。

また、中労委を舞台にしたJR東日本やJR貨物会社との一括和解に伴う、その実効性に対する成果の報告はありながらも、「あっせん」申請に見られるように、未だ一部特定労組に対する取り扱いの差別性を指摘する声も聞かれた。

更に、子会社化やエルダー制度に伴い、出向先職場の労働条件改善や団交出席を求める声も多く出された。大会は、こうした声を自らのものとし、これから一年間共に闘うことを決意しあった。(大会の詳細は次号)

九月二七日、都内・発明会館に於いて、第五九回定期地方大会が開催された。



山本副委員長長の司会で定時に始まり、常盤教宣部長より資格審査委員会報告が行われ、代議員五〇名中四八名、執行部一七名中一六名の参加により大会が成立している事が宣言された。

続いて、議長に小尾代議員(八王子支部)、副議長に古沢代議員(新橋支部)を選出し、冒頭、石上委員長より執行委員会を代表しての挨拶、来賓挨拶、祝電・メッセージ披露、国労議員団紹介、国労東京日本本部・本部からの報告、宮里弁護士からの弁護団報告が行われた。

議事に入り、山田執行委員から大会期日の延期承認提案、松川書記長から経過報告並びに運動方針案の提案が行われた。

昼食休憩をはさんで、山本副委員長から協約・協定の締結承認提案、小菅青年部長から選挙管理委員会設置提案、松川書記長から組織検討委員会報告、宮崎組織部長から規約一部改正提案が行われ、鎌田財政部長から

二〇〇七年度決算報告と質疑が行われ、満場の拍手で承認された。

経過報告に対する発言は、合田満代議員(上野支部)・青木孝一代議員(上野支部)・新川修一代議員(新橋支部)・千葉利吉代議員(新橋支部)・松井弘文代議員(八王子支部)以上五名から受け、松川書記長の答弁も含めて満場の拍手で承認された。

運動方針及び規約改正に対する発言は、丸山淳一代議員(自動車支部)・松本靖雄代議員(大宮工場支部)・松田恭明代議員(新橋支部)・大野広志代議員(八王子支部)・望月英征代議員(中央支部)・伊東敏明代議員(大井工場支部)・吉村吉光代議員(横浜支部)・佐藤幸雄代議員(大宮支部)・湊信蔵代議員(国府津支部)・佐藤満代議員(八王子支部)・岡田直之代議員(新橋支部)・加藤英樹代議員(上野支部)以上一二名から受け、松川書記長は、外注化や合理化が進んでおり、昨年四月に車輪転削の外注化に続いて今年七月には信号の移管により信号職場が廃止になった。

連載企画 分会紹介 ⑦ 大井工場支部保全科分会

団結力は負けない

保全科分会は、東京都品川区にある東京総合車両センター保全科で働く仲間組織されている。東京総合車両センターは、二〇〇四年に車両メンテナンス近代化・工場と区所の検修一元化により大井工場と山手電車区が統合して発足した。保全科は大きく分けると、旧山手電車区を引き継いだ東エリア(構内本部)と新保全体系に基づいた二一系電車の検修班や入換班などの西エリアに分かれている。

組合員は、旧山手電車区の検修と旧工場の仲間を合わせて一六名で組織している。職場



では、外注化や合理化が進んでおり、昨年四月に車輪転削の外注化に続いて今年七月には信号の移管により信号職場が廃止になった。

分会では安全や作業環境の改善に取り組んでいる。新系列電車の保全では同時脱着作業の問題や山手線の車両基地として女性乗務員に優しい構内を目指した要求を運転の仲間と

連携して会社に求めている。また、職場は日勤や派出検査などの徹夜勤務があり、全員が集まる機会は少ないが、団結力は他の分会に負けてはいない。

一〇月一二日に、大井工場支部が主体となつて「第一五回しながわ国鉄まつり」を品川区戸越公園で開催する。地域の連帯する仲間と手作りのまつりとして昨年は四千名の来場者を数えた。今年もおでんとウーロンハの模擬店を出店してまつりを盛り上げる予定。

組織拡大の取り組みは、昨年七月に二九歳の主任運転士が国労に加入したが、その後の拡大はなく、新入社員や若い社員に対する取り組みを模索している状況。

保全科分会は、組合員一人ひとりの特長を生かし、分会の活性化によって職場要求の実現、組織拡大を目指してこれからも頑張る。

大会宣言(案)

国鉄労働組合東京地方本部は、9月27日、東京・発明会館において第59回定期地方大会を開催し、代議員の真摯な討論により前回大会以降の運動を総括し、当面する運動方針を確立した。

国鉄「分割・民営」化から22年目を迎え、JR職場では「効率化」「機械化システム化」「子会社化」等あらゆる施策が際限なく行われ、労働条件の劣悪化が進んでいる。更に、規制緩和が進む中でJR東日本は、仕事の内容も責任も同じでありながら賃金を低く抑え、雇用にも幅が持てる、契約社員を大幅に導入し、一層のコスト削減を進めてきている。同時に、JR貨物に於いても下請け化、業務集約化などが進んでいる。こうした中で、労働者の安全を守り、労働条件の改善を目指す私たち国労の取り組みは一層重要になってきている。

私たちはこれまで「安全・仕事総点検運動」をあらゆる職場で取り組み、安全や労働条件に関わる具体的な事実から改善を求めてきた。「職場に労働運動を」のスローガンの通り、職場末端からの取り組みを展開し、現場からの改善運動を強化していくことが求められている。また、規制緩和により企業間の競争が激化する今日、公共交通機関の安全・安定輸送を確立する観点からも、交通運輸産業に働くあらゆる労働者が企業・差別を越えて団結し取り組んでいかなければならない。

地方本部はこの1年間、組織強化・拡大を最重要課題として取り組み、大きな成果を勝ち取ってきた。各級機関から国労加入の報告が多数寄せられ、また、加入には至らなくても多くの分会から、これまでない様々な取り組みが報告されている。組織強化・拡大を実現することによって、積年の課題であるJR不採用事件の解決や労働条件改善等も、大きく前進することにつながる。これからの一年間、この流れを確実なものとしていくために、国労の総力をあげた闘いに全組合員が取り組んでいかなければならない。

また、JR不採用事件解決に向けた闘いは、「4者・4団体」を解決の枠組みと位置づけ、様々な困難を乗り越え、全体が一致結束し、政治解決を目指す環境と条件を作りあげてきた。解決に向け全国の自治体から1,146本の意見書採択をおこなう等、各級機関や各組合員がさまざまな取り組みを続けてきている。一日も早い解決が求められる中で、政府・鉄道運輸機構に解決テーブルを作らせ、早期解決を目指し、大衆闘争や裁判闘争などを強化しなければならない。特に「10・24中央大集会」の成功に向け国労東京に結集する全組合員・家族の総力をあげ、解決に向け奮闘しなければならない。

政治的には、福田首相が突然の辞意を表明し、2代続けての政権放棄となり、このままの政権でいいのかという国民の声も巻き起こっている。JR不採用事件の早期解決や国民本位の政治にしていけるためにも、全力を挙げることが求められている。これらすべての課題に勝利するため、国鉄労働組合東京地方本部に結集するすべての機関・組合員は全力を挙げることにする。以上宣言する。

2008年9月27日

第36回野球大会終わる

優勝は新橋A、準優勝は大宮A



優勝した新橋A

第三六回国労東京委員長杯争奪軟式野球大会第二日目、準決勝・決勝・三位決定戦が九月四日、大井スポーツセンター野球場で開催された。天候不順が見込まれ、三〇分開始を早めて準決勝が始まった。

準決勝A面は、新幹線地本と大宮地区本部Aで行われ、四対四の同点のため特別ルールとなり、大宮地区本部Aが勝利した。

準決勝B面は、大井工場支部と新橋支部Aで行われ、一回に三点をあげた新橋支部Aが大井工場支部の猛追を振り切って四対二で勝利した。

三位決定戦は乱打戦となったが、二対八で新幹線地本が勝ち、三位に入った。

優勝決定戦は、五回終了時で六対六の同点と素晴らしい試合が展開されたが、大宮地区本部Aの二人が熱中症となるなど力尽き、新橋支部Aが九対六で優勝した。

最高殊勲選手賞は陶山正勝選手(新橋支部A)、最優秀投手賞は川野美芳選手(新橋支部A)、敢闘賞は星光司選手(大宮地区本部A)、打撃賞は古賀一幸選手(大井工場支部)となった。

地方本部が職場訪問

地方本部は九月一六日、隔月に開催している職場激励行動を行った。前回の神奈川県本部管内に続き、今回は大宮地区本部管内の職場を訪問した。

大宮地区本部の協力もいただき、当日は大宮駅に集合。川越線・埼京線・武蔵野線の駅を訪問した。今回訪問したのは指扇・中浦和など全て宇都宮企画開発持ちの職場で、委託・出向に伴う話題が多く聞かれた。

また、各駅とも、みどりの窓口の廃止で利用者からの苦情があり、特に遅延・事故の際の長距離切符の払い戻しも出来ないことへの苦情に苦慮する事が話された。

今後も、地方本部では定期的に職場訪問を行っていきま



職場訪問の様子

国労東京 法律相談

定例開催...毎月第2水曜日
時間...14時~16時(各30分)
会場...東京地本 小会議室
相談費用...初回は地本で負担

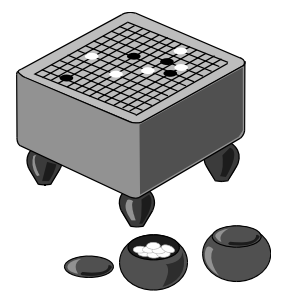
ユース	第2回	10月8日(水)
スケジ	第3回	11月12日(水)
ルジ	第4回	12月10日(水)

- *個人的な悩み・職場・仕事上の悩み
- *分会役員さんと組合員との相談事等何でも気軽に来てください!
- * 個人情報・相談内容は秘密厳守します。
- * 相談される方は、5日前までに地本宛に電話かFAXで申し込んでください(申し込みは裏面を活用してください)
- * 緊急の場合はこれまで同様に地本法対部に連絡ください。

国労東京法対部	
J R 電話	054-2535 FAX 054-2547
N T T 電話	03-3806-9261 FAX 03-3806-9263

第13回囲碁・将棋大会

2009年1月24日(土)
10時~ 受付
10時30分~開会式
~対局~
15時30分~閉会式
北とびあ7階第一研修室
王子駅北口下車徒歩2分
申し込みは地区本部・支部へ



プロ棋士による指導対局もあります!

国労東京地方本部

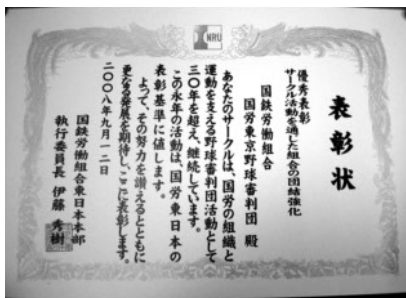


機関紙等が表彰される
— 東日本本部大会 —

九月一三〜一四日に開催された、国労東京本部第二二回定期大会に於いて、機関紙等表彰が行われ、東京地方本部管内から八つの機関・団体が表彰された。

最優秀表彰の部では、通算五〇〇号以上として中央支部・東京工事事務所分会の「東工ニュース」と八王子地区本部・八王子機関区分会の「分会情報」、また、年間五〇号以上達成として新橋支部・蒲田車掌区分会の「分会かべしんぶん」と田町電車区分会の「連結器」が表彰された。

優秀表彰の部では、年間三〇号以上達成として大井工場支部の「保全」が表彰された。



更に、東京地本も日頃からお世話になってい

る、東京地本内各サークル「国労東京ハムクラブ」「国労東京野球審判団」「国労東京走友会」も今回表彰の栄誉を受け

「がん」の生涯保障 (アフラックのがん保険 F(フォルテ))

保険期間: 終身・契約年齢: 0歳~80歳
バリュープランS 2倍

初めて診断確定されたとき	がんの場合 一時金40万円 上皮内新生物の場合 一時金4万円
がん診断確定されたあと生存しているとき ライフサポート年金(上皮内新生物は対象外)	がん診断後、2年目から5年目まで 1年につき 年金20万円×4年間 *生存している場合
入院したとき	入院給付金 1日につき 10,000円
手術したとき	手術給付金 1回につき 20万円
5日以上の継続入院後通院したとき	通院給付金 1日につき 10,000円
特定のがん治療で通院したとき 特定治療通院給付金(上皮内新生物は対象外)	1日につき 10,000円
先進医療をうけたとき がん先進医療給付金	技術料1回につき(1年間に5回まで、通算支払限度額700万円まで) 下記①~④以外の先進医療 実費/上限50万円 ①固形がんに対する重粒子線治療 実費/上限320万円 ②悪性腫瘍に対する粒子線治療(*1) 実費/上限290万円 ③脊髄腫瘍に対する腫瘍脊髄骨全摘術(*2) 実費/上限210万円 ④HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(*3) 実費/上限130万円
先進医療をうけたとき がん先進医療一時金	1回につき 15万円(1年間に1回まで)
がんが死亡したとき	死亡保険金 10万円

(*)1) 固形がんに係るものに限る。(*)2) 原発性脊髄腫瘍または転移性脊髄腫瘍に係るものに限る。(*)3) HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがんに係るものに限る。先進医療の給付金・一時金のご契約には、限度があります。その他、アフラックの基準により限度額を定めています。

プレミアムサポート※ 訪問面談サポートと専門医紹介(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)
※ トータルケアプランS、バリュープランS2倍以上のプランにご契約の場合にご利用いただけます。 AF104-2008-0106 4月18日

◆月払保険料(団体取扱)保険料払込期間: 終身がん保険フォルテ: バリュープランS 2倍 入院日額1万円

35歳	45歳	55歳	65歳
3,038円	4,222円	5,810円	7,952円

(2008年4月1日現在)
*ご健康状態などによっては、お申し込みをお引受けできない場合があります。
◎詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

〈引受保険会社〉
Aflac 系列法人第五支社
アベニール 株式会社
電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
〈取りまとめ先〉
(財)国鉄労働会館東京地方部
JR電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275
電話 03-3806-9264
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1